

戦争法は廃止しかない

若者ら天神「ジャック」福岡

「青年はあきらめていない。戦争法は廃止 いました。呼びかけに心えた青年や学生、生を」と若者憲法集会福岡実行委員会は1日、徒、母親、労働者など140人が、日曜日で福岡市で「戦争法廃止！天神ジャック」を行 にぎわう街頭4カ所で声をあげました。

共産党・民主党議員らあいさつ



「天神ジャック」で戦争法の廃止を訴える青年や母親、国会議員ら＝1日、福岡市

参加者らはハロウィーンにあわせた仮装で注目を集め、戦争法反対のシール投票も楽しんでアピール。「戦争法絶対廃止」「野党は共闘を」のコールに連

りがかかった学生や若者、お年寄りから共感の手拍子や手振りが送られていました。

日本共産党の田村貴昭衆院議員といせだ良子参院比例候補、民主党の野田国義参院議員があいさつしました。

田村議員は「野党共闘を実現し戦争法廃止の内閣をつくるため全力

を尽くす」と決意を表明。野田議員は「自民1強と対決するため野党協力が大切」と呼びかけました。

運動をフェードアウトさせてはいけないと参加した福岡県小郡市の村上暢さん(35)は「集団的自衛権は他国に攻め込むためにしか使われていない。安保法廃止のために、他は置いて結集しなければ。自分もブログなどで訴えていきたい」と話しました。

駅前で200人コール 三重・四日市

シールズ東海 行動呼びかけ

三重県四日市市で10月31日夕、安保法制に反対する四日市街直アピールが行われました。SEALDS TOKAI(シールズ東海)が三重県での行動として初めて呼びかけたもの。若者を中心に約200人の市民が近鉄四日市駅前の歩道を埋め、「集団的自衛権は要らない」などとコールを繰り返しました。日本共産党から本村

伸子衆院議員、山本りか三重県議がゲストスピーカーとして参加。岡野恵美県議も加わり、参加者の「野党は共闘」の声に民主党の中山正春衆院議員、社民党県連前代表の稲森稔尚三重県議らと手をつないで心えました。

シールズ東海で活動するまでは総理大臣の名前も知らなかったという愛知県の大学生ミキさん(21)は「安保法制の危険な内容も許せないが、民主主義のルールが守られていな

いことが一番許せない。こんなプロセスはおかしいと思って声を上げるようになりました。自分なりのかたちで思いを表現し続けた」と話します。

兵庫県から駆け付けた大学院生の小林大貴さん(27)は「関西では今、大阪府知事・大阪市長ダブル選を生活に直結する選挙としてたたかっています。ひきつづく参院選に向けて、民主主義を取り戻そうという声を地方からも発していかねばと思っています」と力強く語りました。